

令和  
**4** 年度  
決算

家計簿から見る、私たちの未来

# 河南町の財政状況

作成：総務部人事財政課

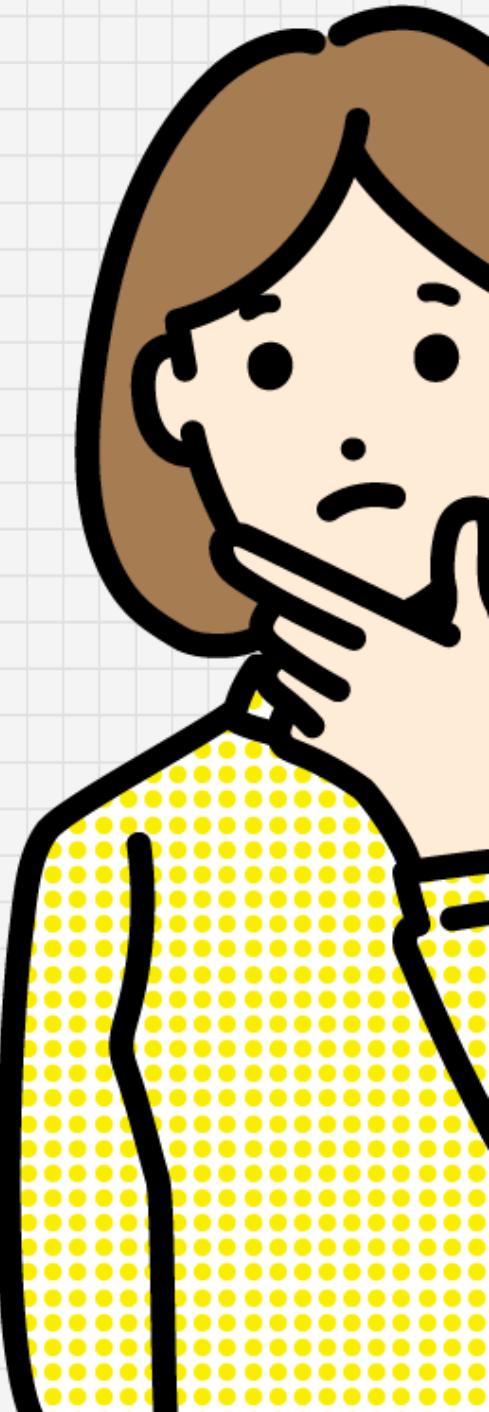
# 河南町の財政

## 「じぶんごと」

私たちの暮らしに深く関わる町の財政状況や、役場で行われているさまざまな事業は、皆さんの日常生活に直結する重要なものです。

この資料では、令和4年度の河南町の決算状況をもとに、町の仕組みや予算の使い道を、家計簿などに置き換えてわかりやすく解説しています。

限られた財源の中で、私たちの税金がどのように使われ、町がどのように運営されているのかを知ることは、住民の皆さんにとって大切な役割です。この機会に、じぶんごととして河南町の「今」を理解し、未来について一緒に考えませんか。



## ～目次～

1ページ	表紙
2ページ	河南町の財政「じぶんごと」
3ページ	目次
4ページ	あなたの家計にも通じる！予算と決算の違い <ul style="list-style-type: none"><li>・予算と決算</li><li>・予算と決算の違いが示すもの</li></ul>
7ページ	町のお財布事情 嵍入と歳出 <ul style="list-style-type: none"><li>・3つの財布で支える町の財政管理</li><li>・お財布に入るお金：歳入</li><li>・お財布から出ていくお金：歳出</li></ul>
11ページ	数字で見る町の1年 令和4年度決算 <ul style="list-style-type: none"><li>・令和4年度の決算</li><li>・令和4年度の歳入</li><li>・歳入額の推移</li><li>・他団体との比較（歳入）</li><li>・令和4年度の歳出（目的別）</li><li>・令和4年度の歳出（性質別）</li><li>・歳出額の推移</li><li>・令和4年度に実施した事業</li><li>・他団体との比較（歳出）</li></ul>
21ページ	将来のための貯金 町の基金 <ul style="list-style-type: none"><li>・基金の種類</li><li>・令和4年度末 基金の残高</li><li>・基金残高の推移</li><li>・住民1人あたりの基金推移</li></ul>

26ページ	未来への投資 町の地方債 <ul style="list-style-type: none"><li>・令和4年度末 地方債の残高</li><li>・地方債残高の推移</li><li>・住民1人あたりの地方債推移</li></ul>
30ページ	財政指標で見る 町の財政状況 <ul style="list-style-type: none"><li>・指標1 経常収支比率</li><li>・指標2 財政力指数</li><li>・指標3 実質公債費比率</li><li>・指標4 将来負担比率</li></ul>
35ページ	町の未来 見通しと課題 <ul style="list-style-type: none"><li>・収支の見通し</li><li>・町の課題1 人口減少</li><li>・町の課題2 施設の老朽化</li></ul>
39ページ	河南町の財政もっと知ろう <ul style="list-style-type: none"><li>・参考 用語解説</li></ul>



あなたの家計にも通じる！



# 予算と決算の違い

家計で毎月の収支計画を立てるように、町も1年間の収入と支出を計画します。しかし、実際に1年が終わったとき、その計画通りにいっているのでしょうか？ここでは、予算と決算の違いを家計に例えてわかりやすく解説します。



# 予算と決算

## 予算とは「これから使うお金の計画表」

例えば、家庭では毎月の給料をもとに、家賃や食費、光熱費、そして貯金まで、どのようにお金を使うかを事前に計画します。この計画によって、「今月は何にどれだけ使えるか？」がわかり、ムダ遣いを防ぐことができます。町でも同様に、1年間でどれだけの収入が見込めるかを予測し、その収入をもとに、教育や福祉、インフラ整備など、どの分野にどれだけのお金を使うかを事前に決めています。

## 決算とは「1年間の終わりに、実際に家計がどうだったかを振り返るもの」

年度末になって家計簿を見直し、「予算通りに使えたか?」「予定外の出費がなかったか?」を確認します。予算と比べて、収入が多かったり、支出が少なかったりすれば黒字、逆に予算をオーバーしてしまえば赤字になります。町では、決算を通じて、計画通りにお金が使えたかどうか、財政の健全性を確認します。



### 予算

使えるお金を  
予測して  
使い道を決める



### 仕事

予算の範囲で  
町の仕事を  
行う



### 決算

使ったお金が  
いくらだったか  
確認する

# 予算と決算の違いが示すもの

## 予算と決算のギャップはどうして生まれる？

家計でも、予算通りにお金を使うことはなかなか難しいものです。突然の出費があったり、収入が予想より少なかつたりすることもあります。同様に、町の予算と決算にも差が生まれることがあります。例えば、予想外の災害対策にお金が必要になったり、税収が予想よりも少なかつたりすることで、当初の計画とは異なる結果になることがあります。



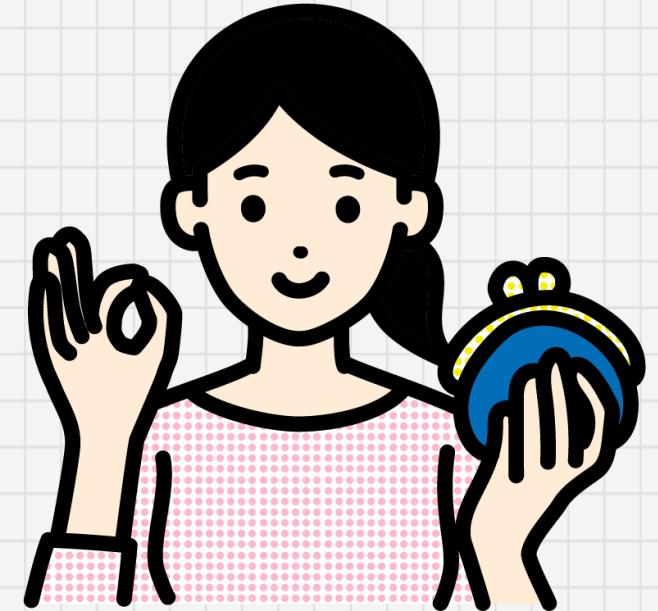
## なぜ予算と決算を比べることが重要なのか？

家計では、予算と実際の支出を比べることで、「どこで予算オーバーしたのか」「次回はどのように改善すべきか」を考えます。同じように、町でも予算と決算を比較することで、財政運営の見直しや改善策を立てることができます。これにより、より効率的で安定した財政運営が可能になります。



## 町のお財布事情

# 歳入と歳出



町の財政は、私たちの家計と同じように、収入と支出のバランスが大切です。ここでは、歳入（収入）と歳出（支出）について、わかりやすく説明します。



# 3つの財布で支える町の財政管理

町の財政は3つの財布によって管理されています。それぞれの財布は、町の収入と支出がどのように管理されているかを示す枠組みであり、それぞれの役割が異なります。

## メインの財布 一般会計



町が日常的に使うメインの財布です。これは、家計で言えば、食費や光熱費、教育費など、普段の生活に必要なお金を管理する財布に相当します。

学校や福祉サービス、道路の整備に使われるお金は、このメインの財布から支払われます。

## 特定の財布 特別会計



特定の目的のために使う別の財布です。家計で言えば、旅行用の貯金や、子どもの教育資金を別に管理するための財布のようなものです。町には、4つの特別会計があります。

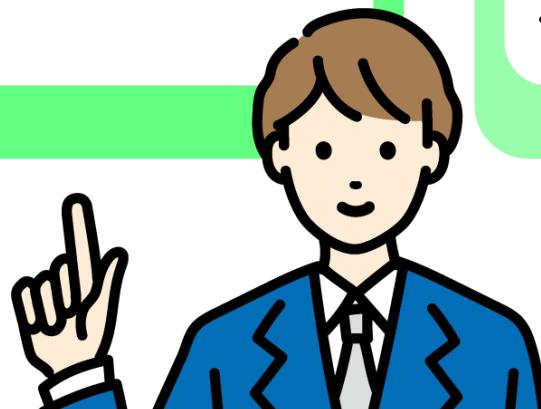
- ・国民健康保険
- ・後期高齢者医療
- ・介護保険
- ・土地取得

## 事業運営の財布 企業会計



町がビジネスを運営するための専用の財布です。家計で言えば、副業や不動産収入を管理する財布のようなものです。

町では、下水道事業を運営するためのお金がこの財布で管理されています。住民に安全で快適な生活環境を提供しながら、収益を上げるための重要な役割を果たしています。



ここからは、メインの財布「一般会計」を中心  
にさらに解説します！

# お財布に入るお金：歳入

歳入とは、町が住民にさまざまなサービスを提供するために必要なお金をどこから得ているかを示すものです。大きく分けて『自主財源』と『依存財源』の2つに分類されます。

## 自主財源と依存財源

自主財源は、自治体が独自に確保する収入源を指します。主に地方税や公共施設の利用料などが該当します。これは、家計で言えば、自分の働きによって得られる収入（給料や副業収入）のようなものです。

依存財源は、国や他の自治体からの支援を通じて得られる収入です。主に国からの交付金や補助金がこれにあたります。家計で言えば、親や親戚からの援助金（お年玉）や臨時収入のようなものです。

自主財源が多いと、自治体は財政の自由度が高まり、依存財源が多いと、国の政策に影響を受けやすくなります。

## 家計で例えると？



毎月のお給料は「**自主財源**」

自分の働きによって得られる収入です。家計の主要な収入源であり、生活費や貯蓄の基盤となります。自治体における地方税に相当します。

親が子どもの大学進学のために提供する学費や教育資金は「**依存財源**」

子どもの将来のために親が計画的に支援するお金です。これは、自治体が特定のプロジェクトやサービスのために国からの交付金を受け取ることに似ています。



# お財布から出ていくお金：歳出

歳出とは、町が地域社会の発展や住民サービスの提供に向けて支出するお金のことです。使い道に応じて『目的別』と『性質別』の2つの視点から分類されます。目的別ではどの分野にどれだけのお金を使ったかを示し、性質別ではその支出がどのような形で行われたかを示します。

## 目的別と性質別

目的別の歳出は、支出の目的に基づいて分類されます。例えば、教育、福祉、インフラ整備といった具体的な分野ごとに分類されます。家計で言えば、「食費」「教育費」「医療費」といった支出目的ごとの分類に相当します。

一方性質別は、支出の性質に基づいて分類されます。例えば、人件費、物件費、補助金、委託費など、支出がどのような形で行われたかに基づく分類です。家計で言えば、「固定費（家賃、光熱費）」や「変動費（娯楽費）」のように、支出の性質ごとに分ける方法に相当します。

## 家計で例えると？

「食費」「教育費」「医療費」といった何のためにお金を使うのかは「目的別」



「固定費（家賃、光熱費）」や「変動費（娯楽費）」のような支出かは「目的別」



数字で見る町の1年

# 令和4年度決算



令和4年度の決算を通じて、町の財政がどのように運営され、私たちの暮らしにどのように影響を与えたかをわかりやすくお伝えします。

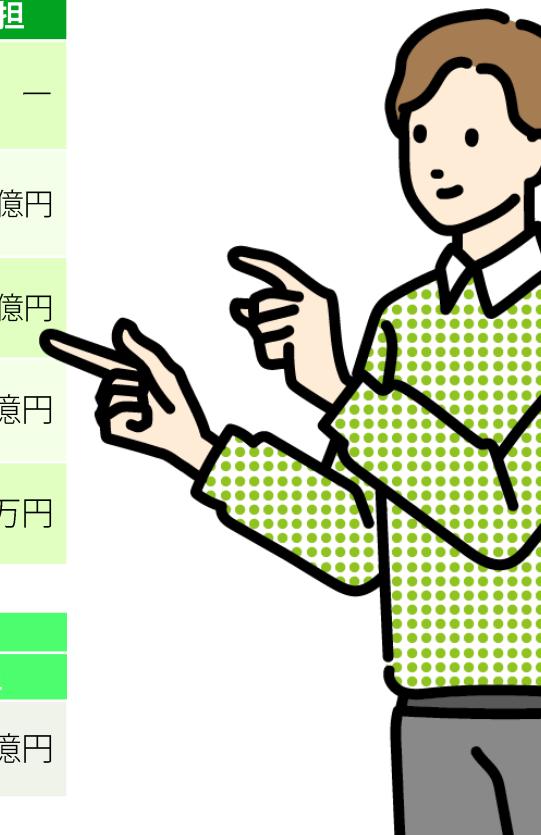


# 令和4年度の決算

令和4年度は、全体で約109億円がかかっています。すべての特別会計で赤字はありませんが、近年では、医療費・介護経費が増加傾向で、後期高齢者医療や介護保険にかかる一般会計の負担が増加しています。

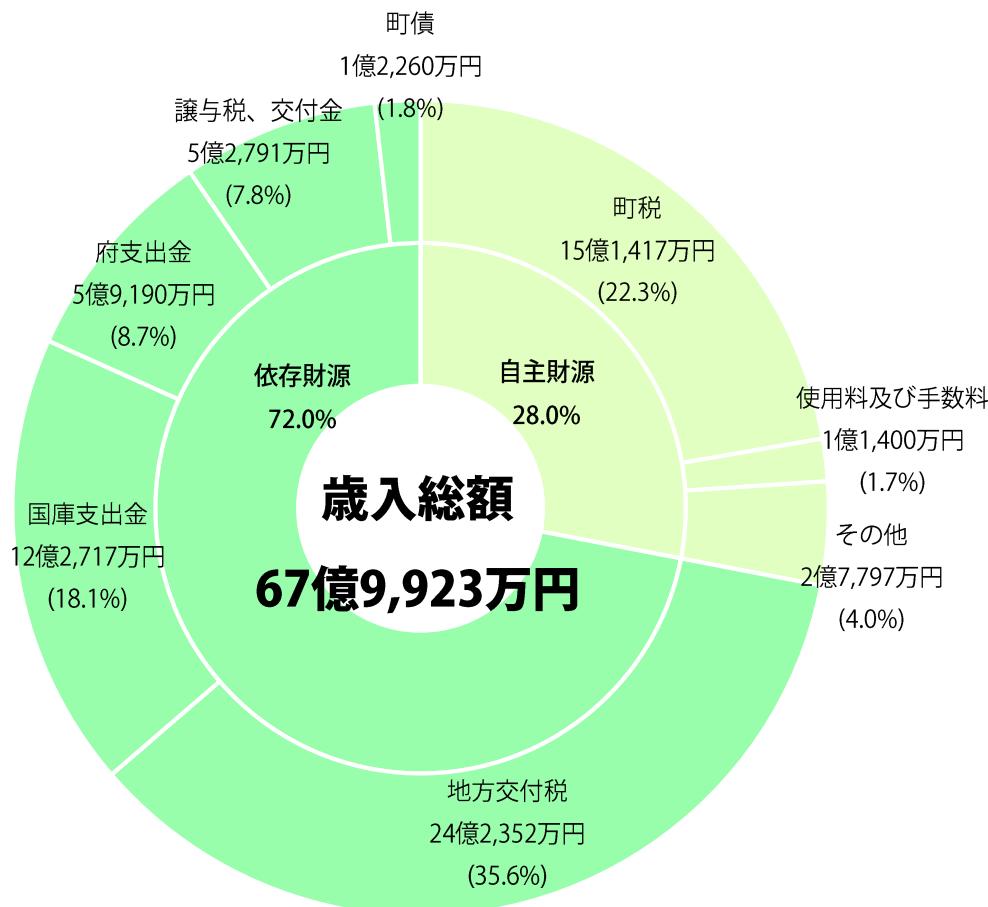
会計名	歳 入	歳 出	収 支	一般会計負担
一 般	67億9,923万円	65億887万円	2億9,036万円	—
国 民 健 康 保 険	18億4,415万円	18億4,332万円	83万円	1.6億円
後 期 高 齢 者 医 療	3億2,514万円	3億2,023万円	491万円	0.5億円
介 護 保 険	17億4,412万円	16億2,266万円	1億2,146万円	2.4億円
土 地 取 得	23万円	23万円	0万円	0万円

会計名	総収益 (収入)	総費用 (支出)	損益 (収支)	一般会計負担
下水道事業	5億7,780万円	6億9,259万円	△1億1,479万円	1.6億円



# 令和4年度の歳入

令和4年度一般会計における町の歳入決算額は、どのように集められたのか。その具体的な内訳を見ていきましょう。



## 歳入決算額の総額

令和4年度の歳入決算額は、総額67億9,923万円でした。これは町が1年間で得た総収入であり、住民の税金や国からの補助金などを合わせた金額です。

## 自主財源と依存財源の割合

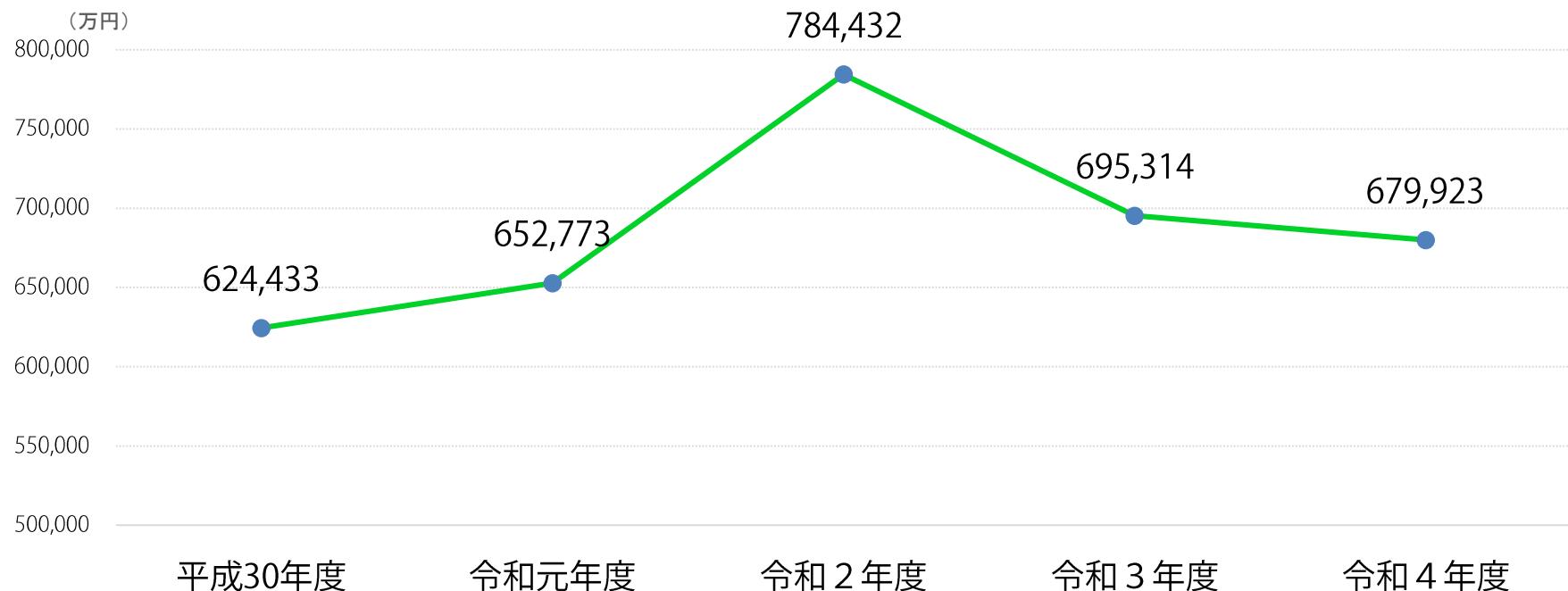
歳入のうち28.0%（約19億円）が自主財源です。これは、住民税や公共施設の使用料など、自治体が独自に得た収入です。残りの72.0%（約49億円）は依存財源で、国からの交付金や補助金がこれに該当します。

## 数字から見る町の歳入状況

自主財源が多いほど、自治体は独自の財政運営が可能となります。令和4年度は、28%が自主財源で、一定の独立性を保ちながらも、依存財源が多くを占めているため、国からの支援に依存しています。

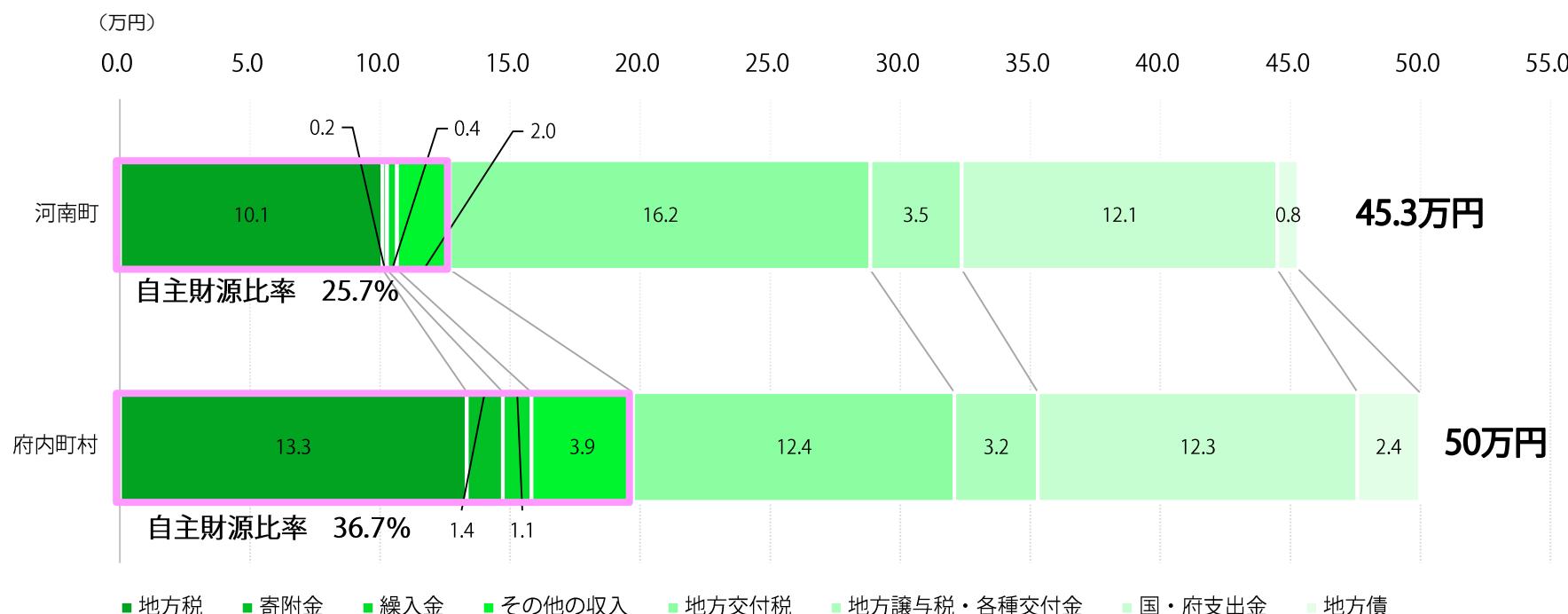
# 歳入額の推移

歳入額の推移を見てみると、新型コロナや物価高騰対策として、国からの交付金が増加するなど、歳入額は、全体的に増加傾向となっています。なお令和2年度は、特別定額給付金にかかる国庫補助金により、特に大きくなっています。



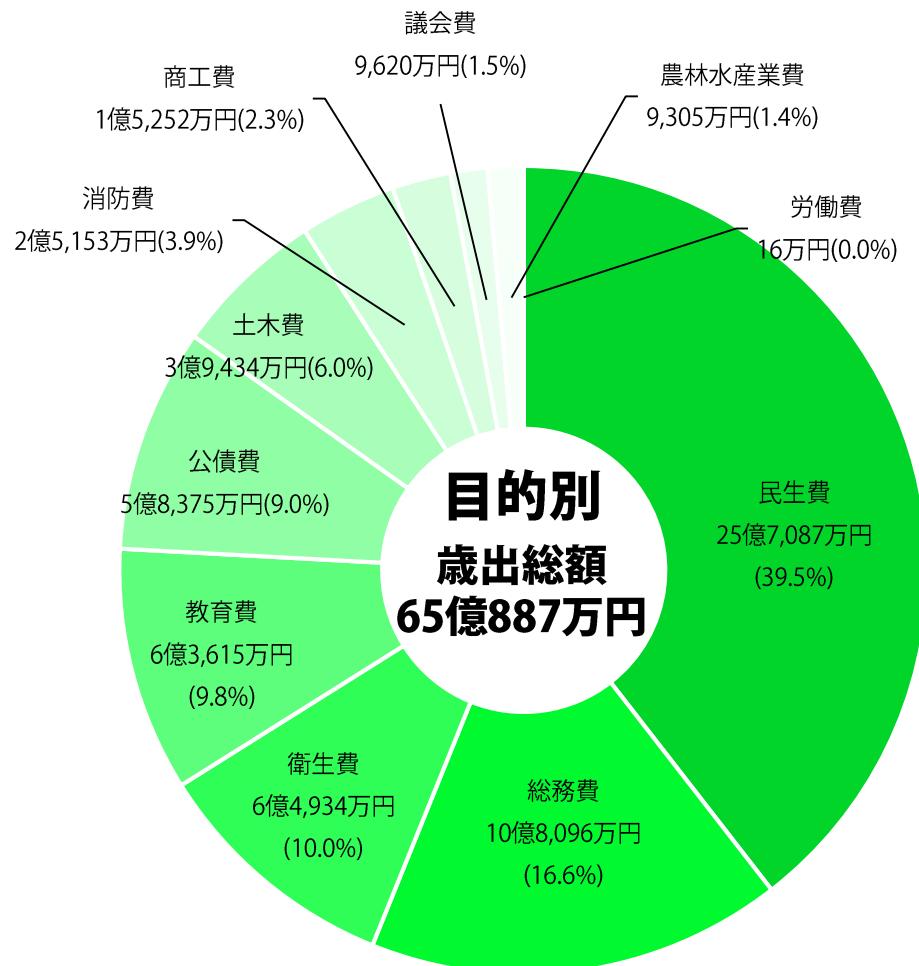
# 他団体との比較（歳入）

普通会計（一般会計に土地取得特別会計を含んだ会計）における町の決算額と大阪府内の町村の平均決算額を比較したものです。歳入額の住民1人あたりの額でみると、町の自主財源の割合は府内町村平均よりも低く、地方交付税などの依存財源に頼らざるを得ない状況であるため、歳入の確保が必要です。



# 令和4年度の歳出(目的別)

令和4年度一般会計における町の歳出決算額は、どのように使われたのか、まず、歳出を目的別に分類してみましょう。



## 歳出決算額の総額

令和4年度の歳出決算額は、65億887万円でした。この金額は、町の財政から住民サービスや地域の発展に向けて支出された総額を示しています。

## 割合が多い科目ベスト3

### 1位 民生費 (39.5%、約26億円)

歳出のうち最も多い割合となるが民生費で、社会福祉増進のための経費です。主な事業は、障がい者の自立支援や児童手当、こども園の運営などです。

### 2位 総務費 (16.6%、約11億円)

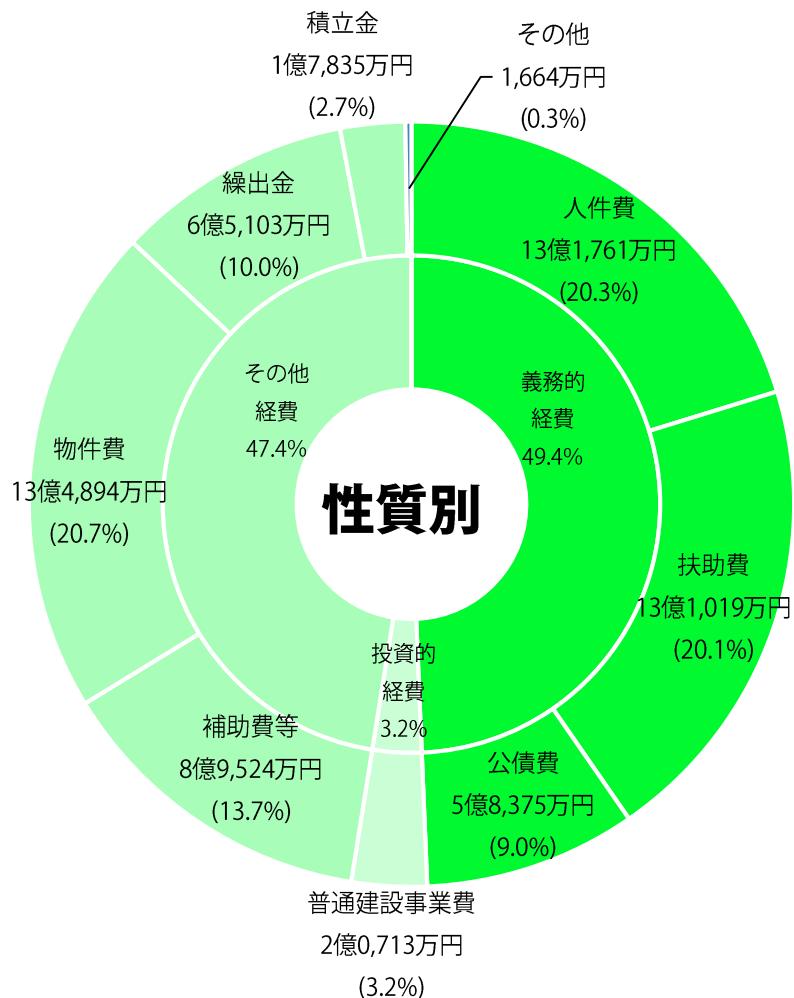
全般的な管理事務や町税、戸籍、選挙などの経費です。主な事業は、地域公共交通の運行やホームページリニューアル、バス停猛暑対策事業などです。

### 3位 衛生費 (10.0%、約6億円)

保健関係やごみ収集など公衆衛生のための経費です。主な事業は、新型コロナワクチン接種や健康診査などです。

# 令和4年度の歳出(性質別)

次に、歳出を性質別に見ていきます。支出の形態がどのようにになっているのかを理解することは、町の財政運営の健全性を確認するうえで重要です。



## 性質別歳出の内訳

歳出の性質に基づいて分類されたもので、人件費、扶助費、物件費などが含まれます。またこれらの歳出は、さらに義務的経費、投資的経費、その他経費の3つのカテゴリーに分類されます。

## 義務的経費・投資的経費・その他経費

### 義務的経費 (49.4%、約32億円)

自治体が毎年必ず支 outgoing necessary expenses. 主に人件費や扶助費、公債費などがこれに含まれます。

### 投資的経費 (3.2%、約2億円)

将来のためのインフラ整備や公共施設の建設・改修などに使われる経費です。

### その他経費 (47.4%、約31億円)

義務的経費や投資的経費に分類されない日常的な運営経費です。例えば役場の運営費や消耗品の購入費などが含まれます。

# 歳出額の推移

歳出額の推移を見てみると、平成30年度以降、公共施設の再編に伴う大規模事業を実施したことや、令和2年度には、住民1人につき10万円の特別定額給付金の支給を行ったため、特に決算額が大きくなるなど、歳出額は、全体的に増加傾向にあります。



# 令和4年度に実施した事業

新型コロナワクチン接種 1億3,986万円



かなんぴあで集団接種を実施。他にも金剛病院や富田林医師会管内6医院（小児のみ）で個別接種を実施しました。  
接種者 19,056人

学校給食費無償化 5,508万円



町内小中学校の学校給食費を完全無償化しました。  
給食回数は小学校で179回、780食/1日、中学校で155回、423食/1日を実施しました。

物価高騰による生活者支援 5,631万円



マイナンバーカードを取得または取得申請している人を対象に、1人あたりカナちゃんコイン7,500円分を配付しました。  
配付数 7,132人

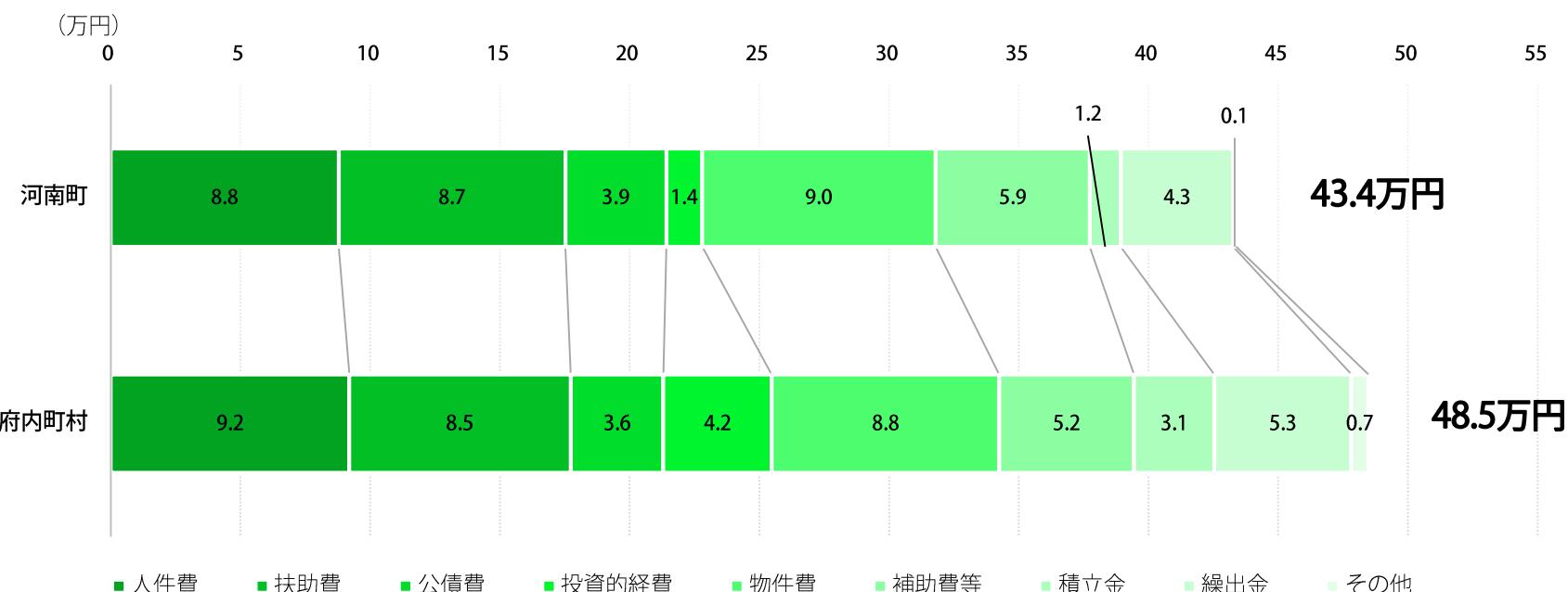
カナちゃんコイン 7,567万円



カナちゃんコインのキャンペーンを実施。内容は、第3弾.05%常時還元、第4弾全住民に3,000円分カード配布、第5弾20%還元を行いました。

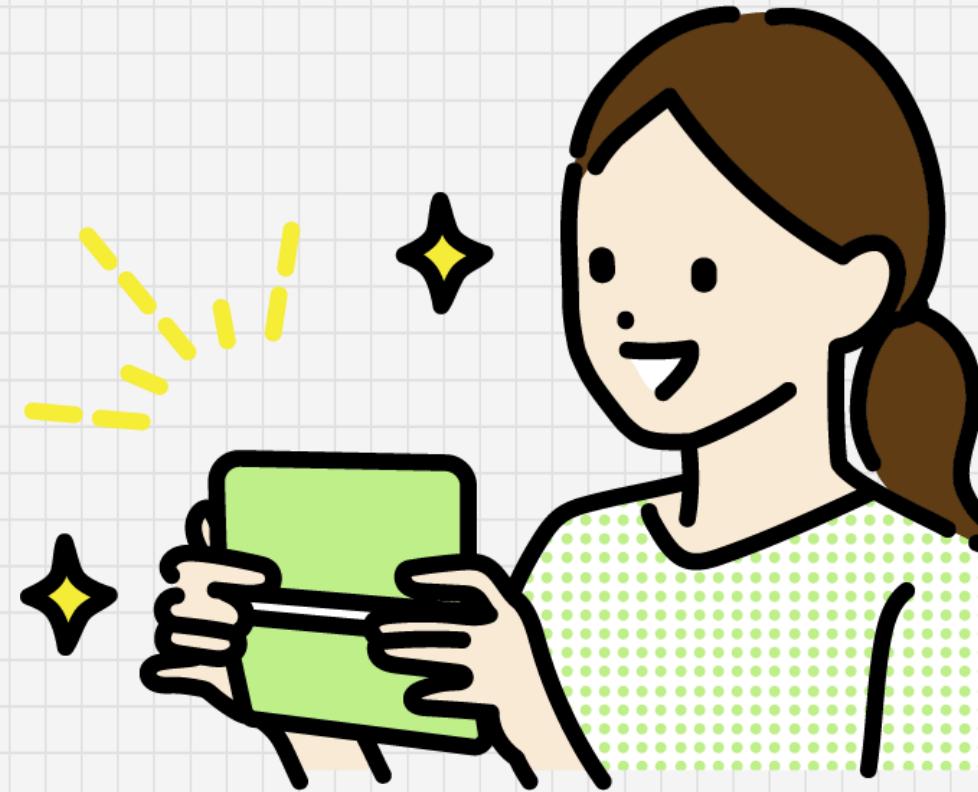
# 他団体との比較（歳出）

普通会計（一般会計に土地取得特別会計を含んだ会計）における町の決算額と大阪府内の町村の平均決算額を比較したものです。歳出額の住民1人あたりの額でみると、学校給食費の助成などを行っていることから、府内町村平均に比べて、補助費などの割合が大きくなっています。



## 将来のための貯金

# 町の基金



基金とは、町の将来に備えるための大切な貯金です。予期せぬ事態に対応したり、大規模な公共事業を実施するための資金として活用されます。町の財政を安定させ、住民の皆さんに安心を提供するために、基金はどのように役立っているのでしょうか？



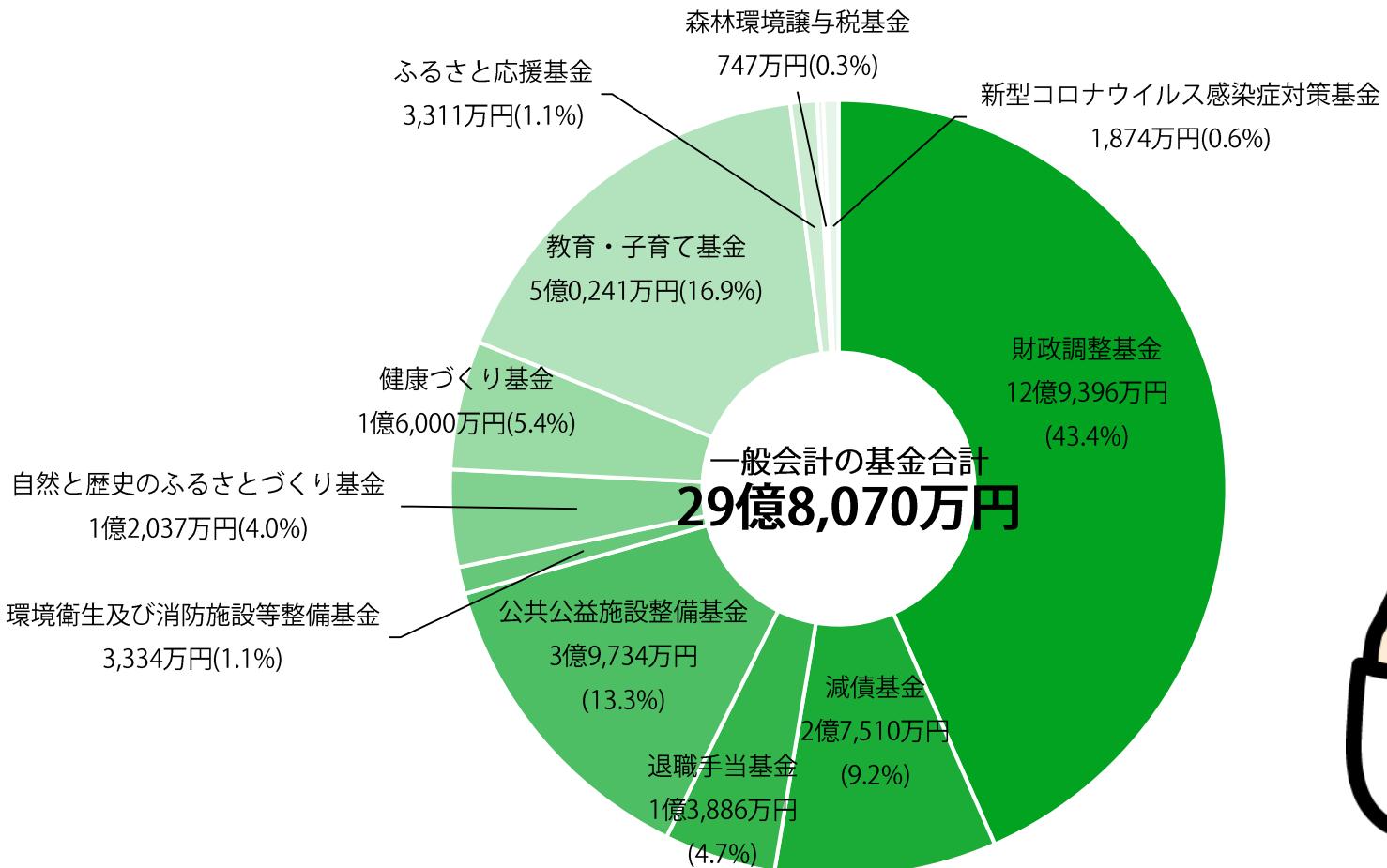
# 基金の種類

町には災害やその他財源の不足が生じたときなどに備えて積み立てておく「財政調整基金」のほか、地方債の償還に備えて資金を積み立てる目的で設けている「減債基金」、公共施設の整備など特定の目的を実施できるよう、その使い道に限って取り崩すことができる「特定目的基金」があります。

名称	設置年月	説明
財政調整基金	昭和39年5月	年度間の財源の不均衡を調整し、計画的な財政運営を行うための基金。
減債基金	平成2年3月	町債の償還に備えて積み立てを行うための基金。
退職手当基金	昭和51年3月	一般職及び特別職の退職手当の支給に必要な資金を積み立てるための基金。
公共公益施設整備基金	昭和50年10月	町の公共施設の整備に必要な資金を積み立てるための基金。
環境衛生及び消防施設等整備基金	平成元年6月	環境衛生施設および消防施設などの設備資金を積み立てるための資金。
自然と歴史のふるさとづくり基金	平成2年3月	町の豊かな自然と歴史的環境を活かしたふるさとづくり事業の資金を積立てるための基金。
健康づくり基金	平成2年3月	住民の健康づくりに関する事業の資金に充てるための基金。
教育・子育て基金	平成23年3月	教育、子育てに関する事業の資金を積み立てるための基金。
ふるさと応援基金	平成20年9月	ふるさと納税制度により、町に寄せられた寄附金の基金。
森林環境譲与税基金	令和元年6月	間伐や人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備などの資金を積立てるための基金。
新型コロナウイルス感染症対策基金	令和3年3月	新型コロナウイルス感染症に係る対策に必要な事業の資金を積立てるための基金。

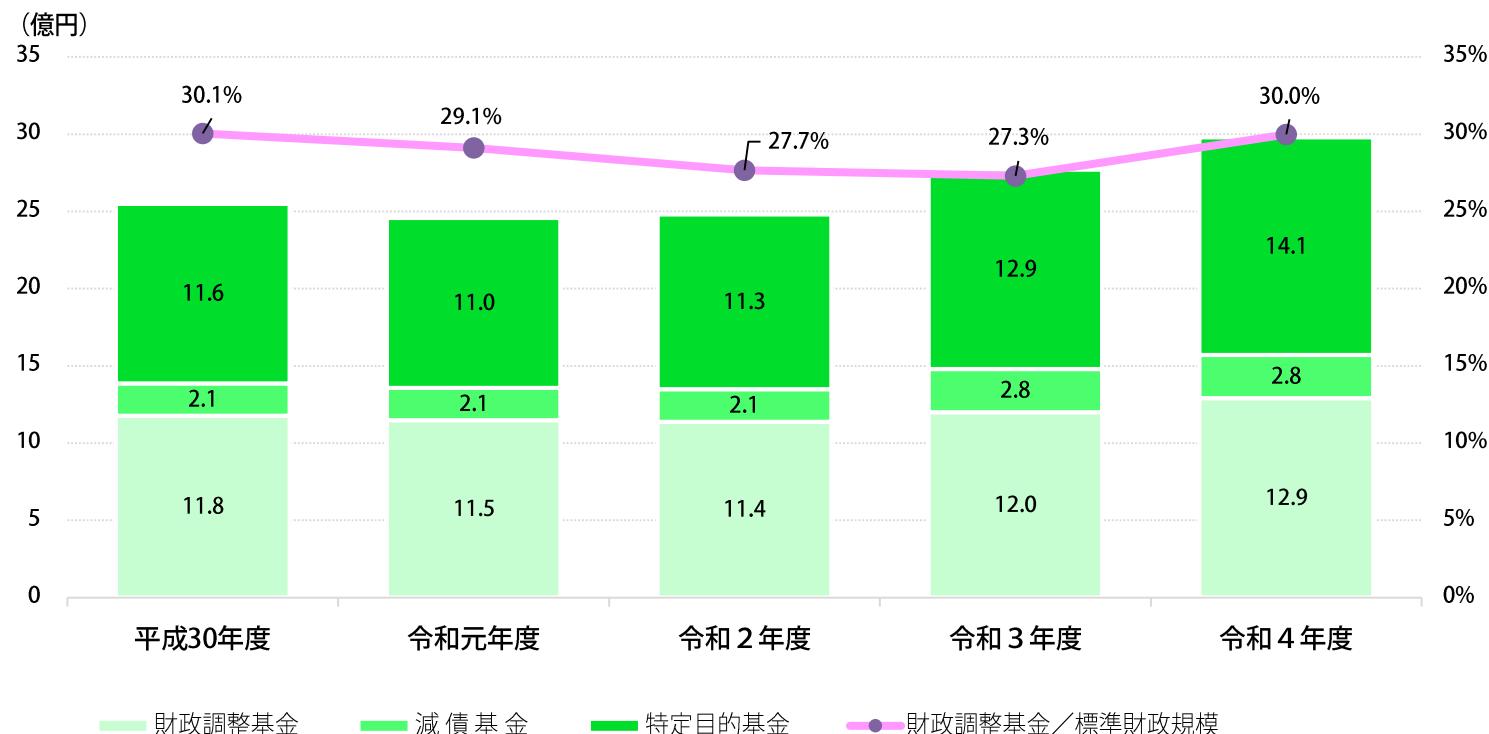
# 令和4年度末 基金の残高

町の各基金がどのように積み立てられているか、令和4年度末時点での残高内訳を見てみましょう。



# 基金残高の推移

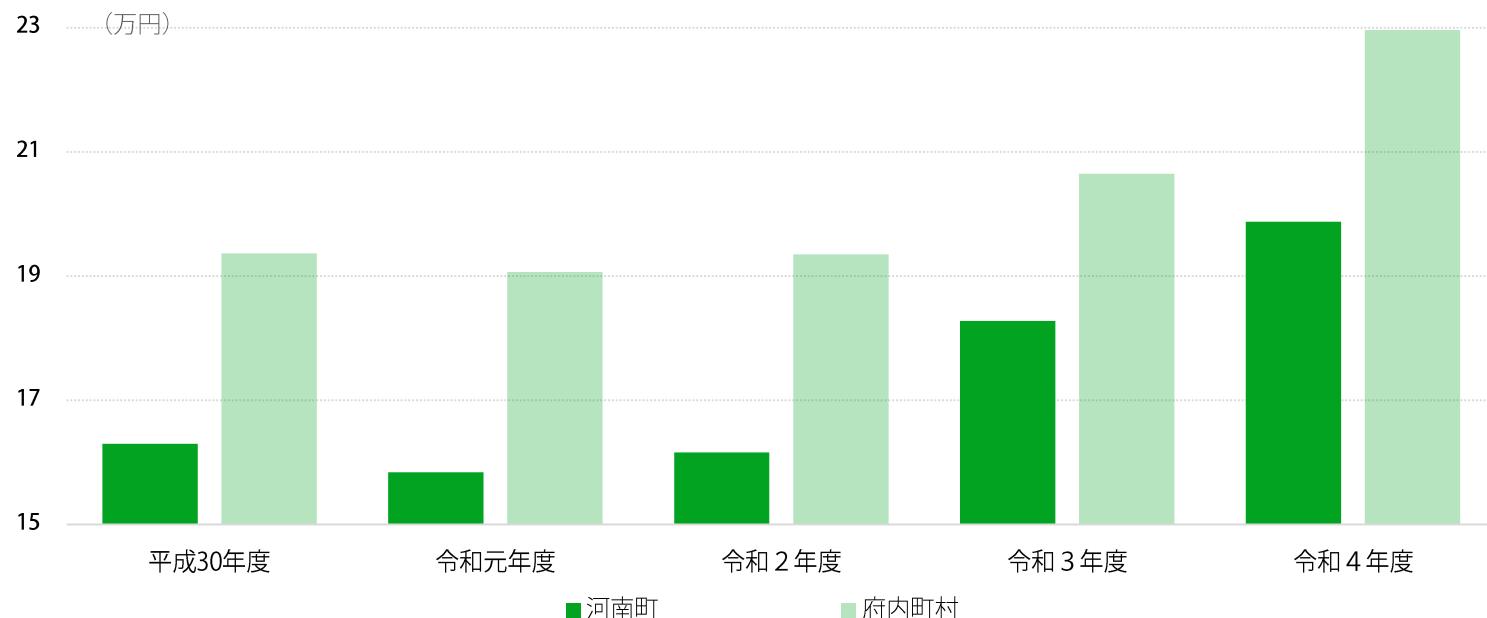
令和4年度末の基金残高は、前年度末より2億1千万円増加しました。これは、財政調整基金や教育・子育て基金などへの積立が行われたことによるものです。



※標準財政規模とは？  
標準的な状態で通常収入される  
であろう経常的一般財源の規模  
を示すもの。

# 住民1人あたりの基金推移

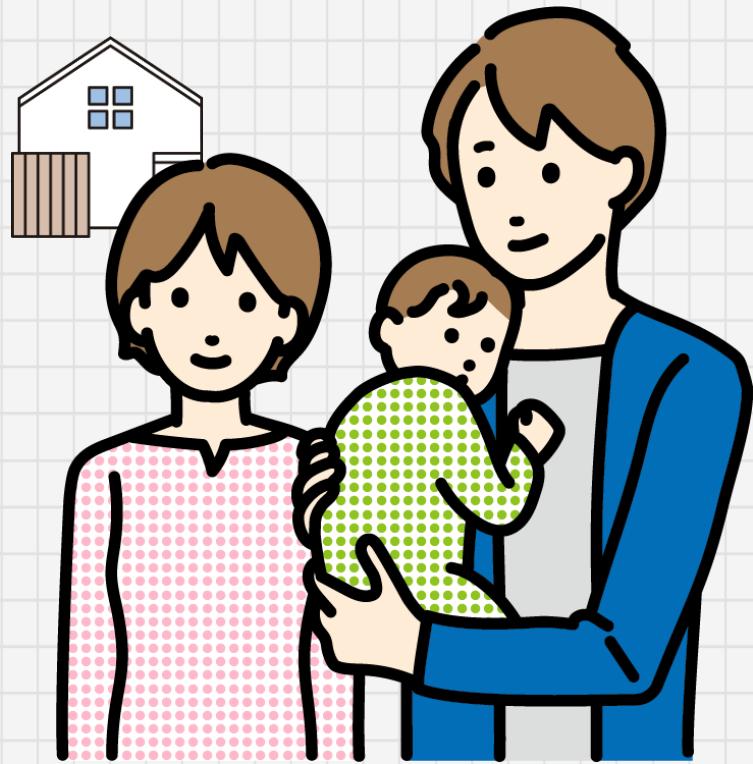
府内町村に比べて、依然として低い水準にあるため、今後も投資的経費の抑制や町税の徴収率向上に努め、持続可能な財政運営を目指す必要があります。



	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
河南町	16万3千円	15万8千円	16万2千円	18万3千円	19万9千円
府内町村	19万4千円	19万1千円	19万4千円	20万7千円	23万0千円

未来への投資

# 町の地方債

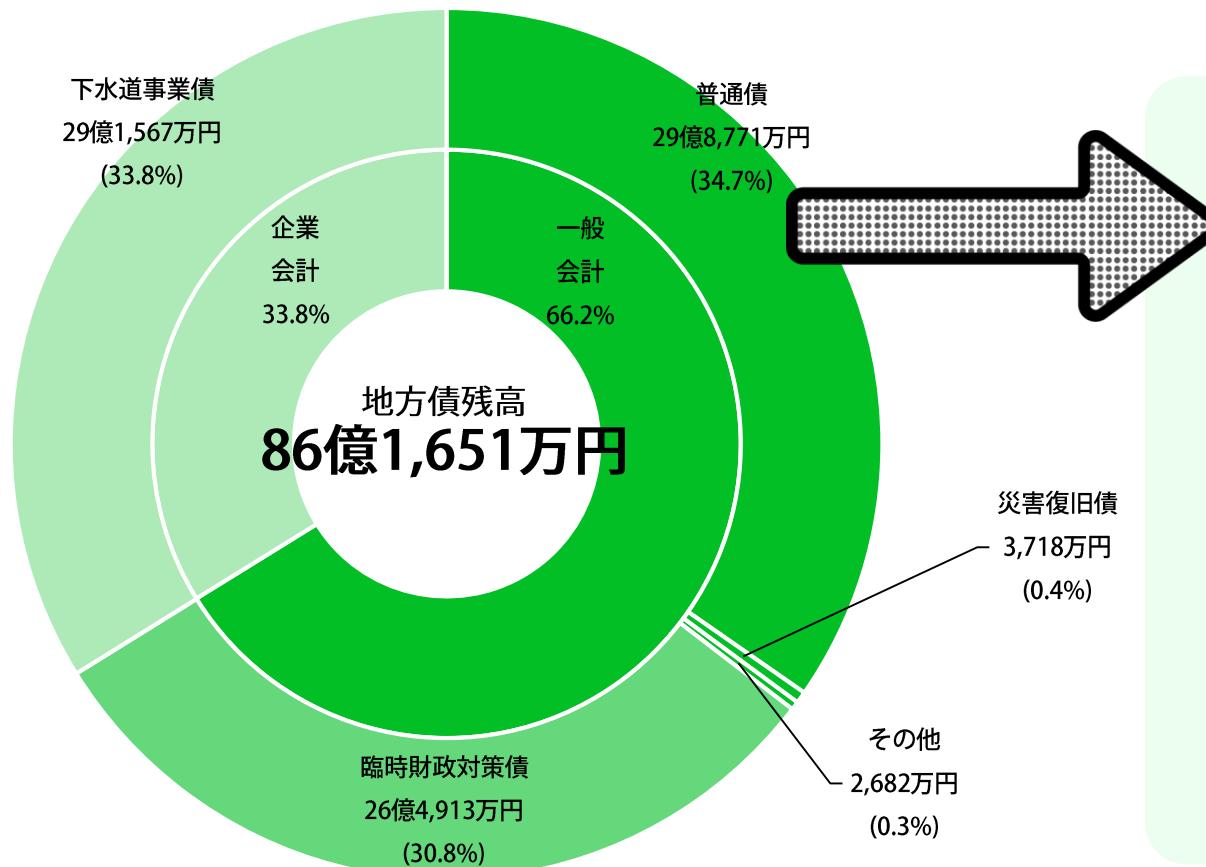


地方債は、町の未来を築くための『住宅ローン』のようなものです。家を購入する際に利用する住宅ローンが個人の未来を支える投資であるように、地方債は、町の未来を築くための重要な資金源です。町では必要なインフラや公共施設を整備するために、将来にわたって返済する計画を立てて資金を借り入れます。これにより、私たちと将来の世代が快適で安心して暮らせる町を作り上げることができます。



# 令和4年度末 地方債の残高

地方債（町債）の残高は、令和4年度末で約86億円です。内訳として、一般会計で約57億円（66.2%）、下水道事業会計で約29億円（33.8%）となっています。



「借りたお金でなにをした？」

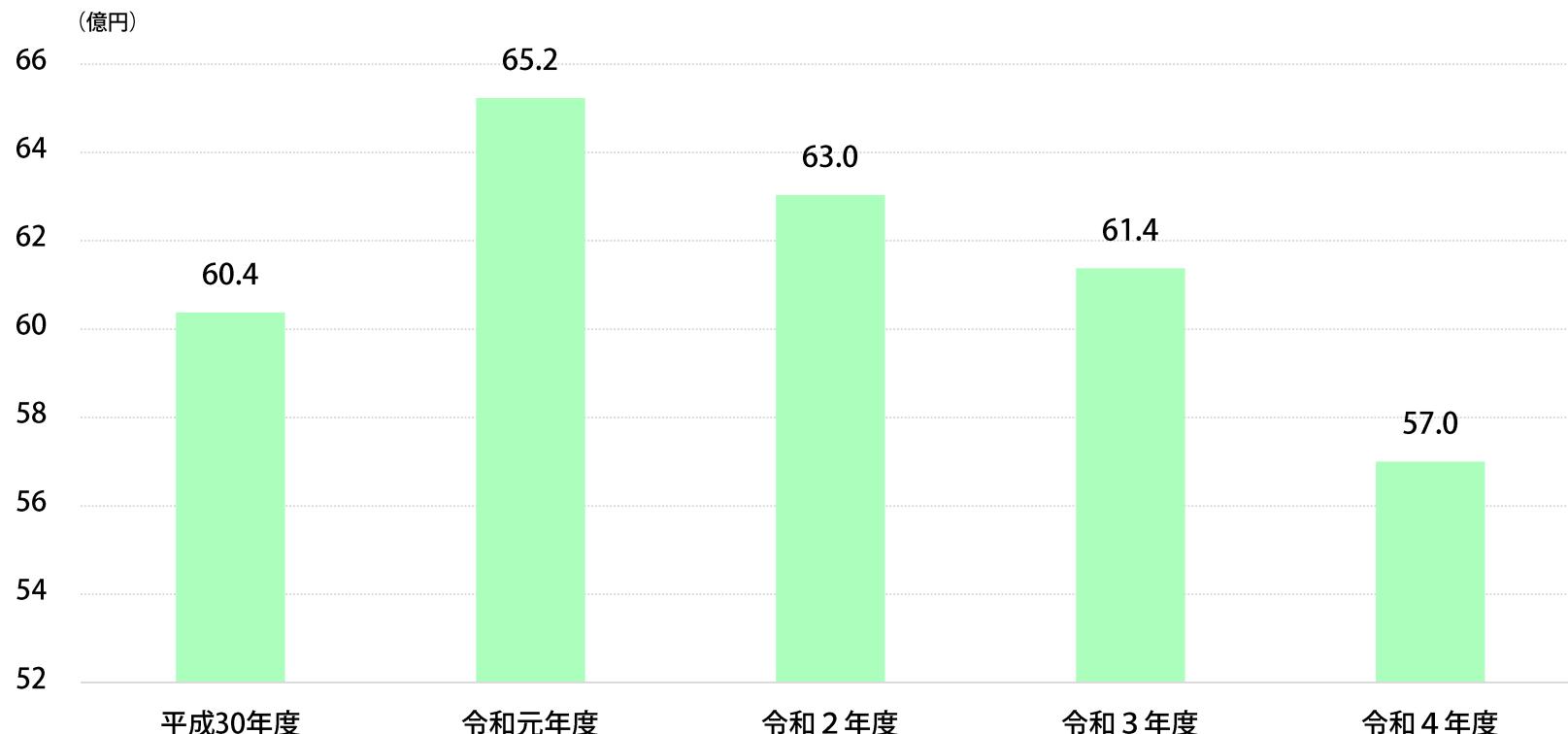
## 普通債の内訳

- ・集会所改修
- ・認定こども園整備
- ・保健福祉センター建設
- ・道の駅かなん再整備
- ・道路、橋梁、河川改修
- ・消防庁舎（現 河南分署）建設
- ・小中学校改修
- ・公民館整備
- ・図書館整備
- ・学校給食センター整備
- ・総合体育館長寿命化
- ・防災行政無線整備 など



# 地方債残高の推移

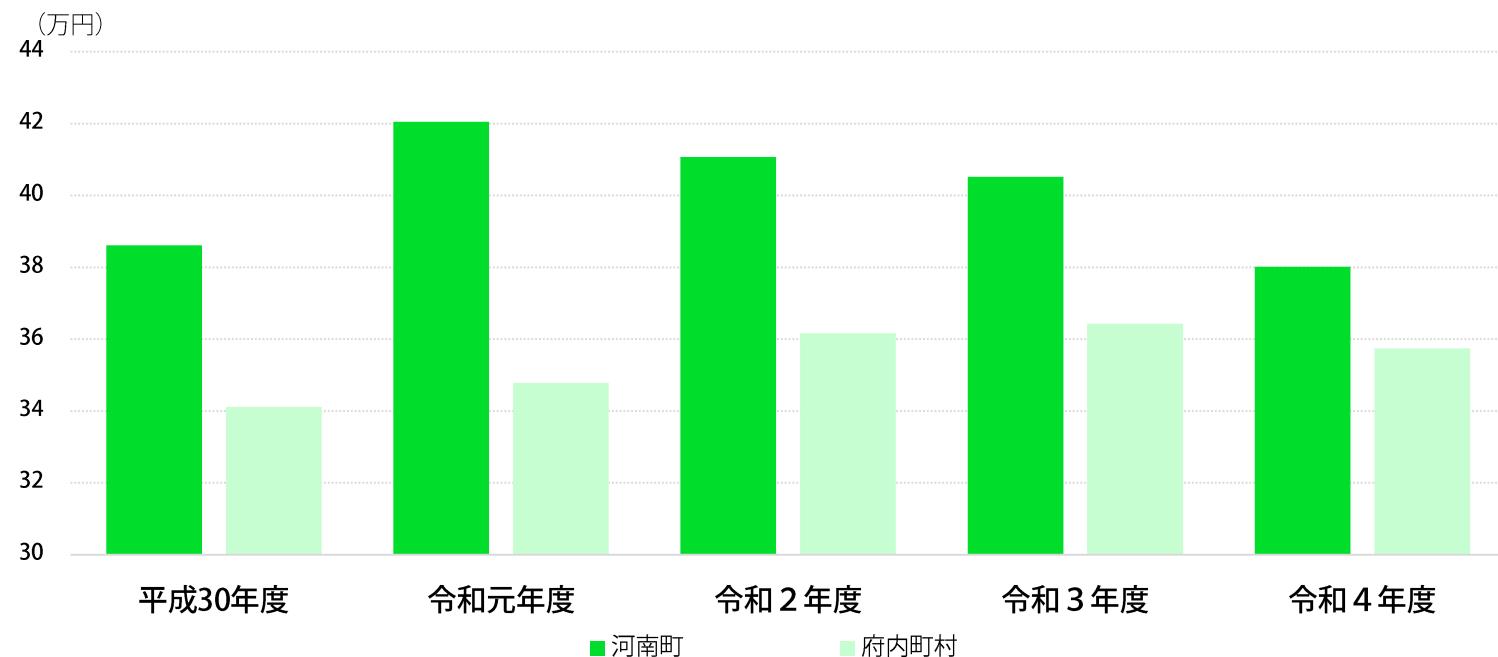
令和4年度は、新規発行額が元金償還額を下回ったことから、前年度と比較して町債の残高は減少しています。令和元年度以降、減少傾向にあります。



※普通会計（各団体間の適切な比較や統一的な把握ができるよう、全国統一基準により用いられている会計区分）ベースの残高であり、企業会計を除く。

# 住民1人あたりの地方債推移

町の住民1人あたりの地方債の残高は、府内町村平均よりも高い状況が続いています。今後は町債の縮減を図るため、安易に地方債に頼らず、投資的経費をはじめ事業を精査し、借り入れをできる限り抑制する必要があります。

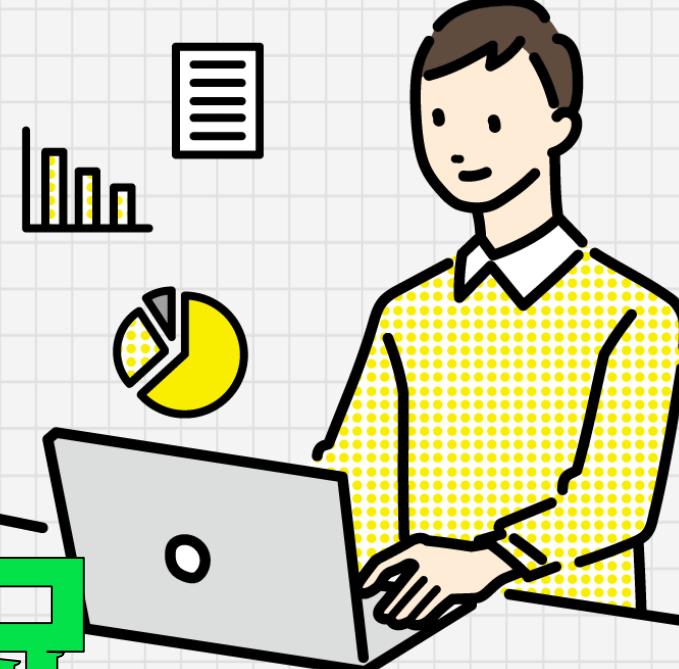


	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
河南町	38万6千円	42万1千円	41万1千円	40万5千円	38万0千円
府内町村	34万1千円	34万8千円	36万2千円	36万4千円	35万7千円

財政指標で見る

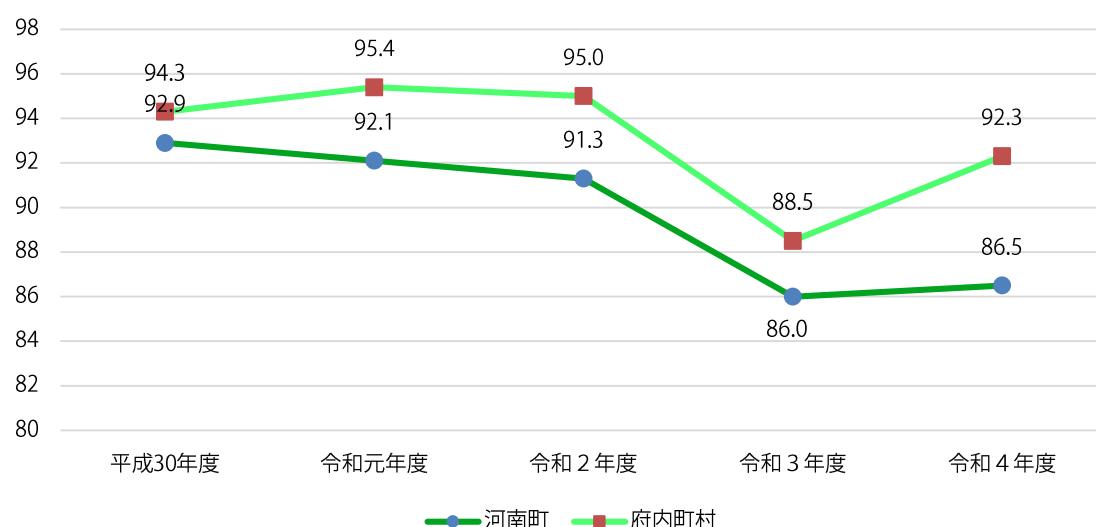
# 町の財政状況

町の財政状況をより深く理解するために、経常収支比率や財政力指数といった財政指標を用いて分析を行います。これらの指標は、町の財政の健全性や持続可能性を探るための重要なデータとなります。



# 指標1 経常収支比率

経常収支比率は、町の安定した収入に対して、毎年継続的に発生する支出がどれだけ占めているかを示す指標です。家計に例えると、「毎月の固定収入に対して、生活費や光熱費、家賃など、必ず支払わなければならない固定支出がどれだけの割合を占めているか」ということを示します。この比率が高いほど、自由に使える財源が少なく、財政運営が硬直化しやすいと言えます。



令和4年度はどうだった？

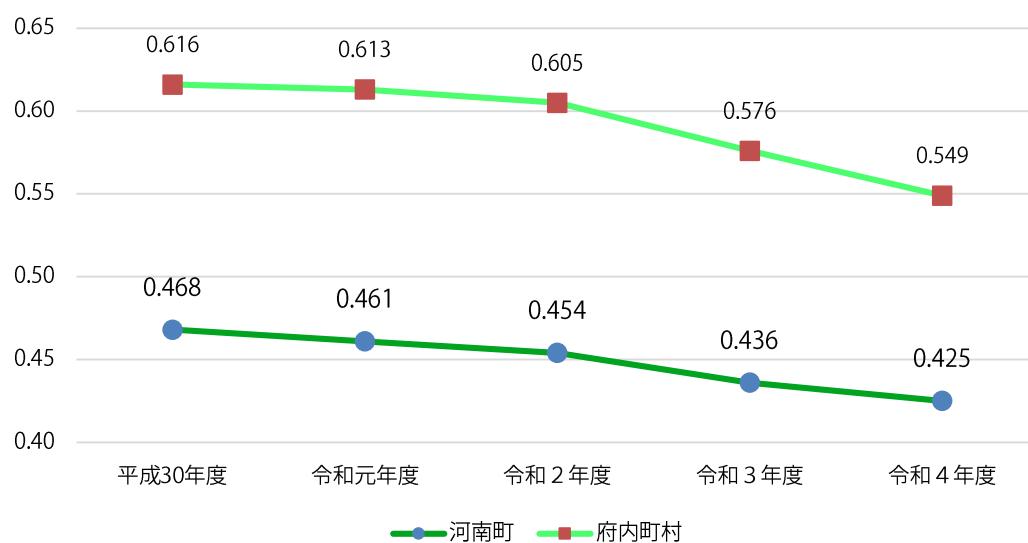


町の経常収支比率は86.5%で前年度に比べ0.5ポイント悪化しました。

主な要因は、燃料価格の上昇による電気代の高騰が挙げられます。

# 指標2 財政力指数

財政力指数は、町が自力でどれだけの財政をまかなえているかを示す指標です。家計に例えると、「家計がどれだけ自力で生活費や支出をまかなえているか」ということを示します。この指数が1.0を超えると、町は国や府からの補助金に頼らずに自立して運営できることを意味します。河南町の財政力指数がどのように推移しているかを見ていきましょう。



	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
河南町	0.468	0.461	0.454	0.436	0.425
府内町村	0.616	0.613	0.605	0.576	0.549

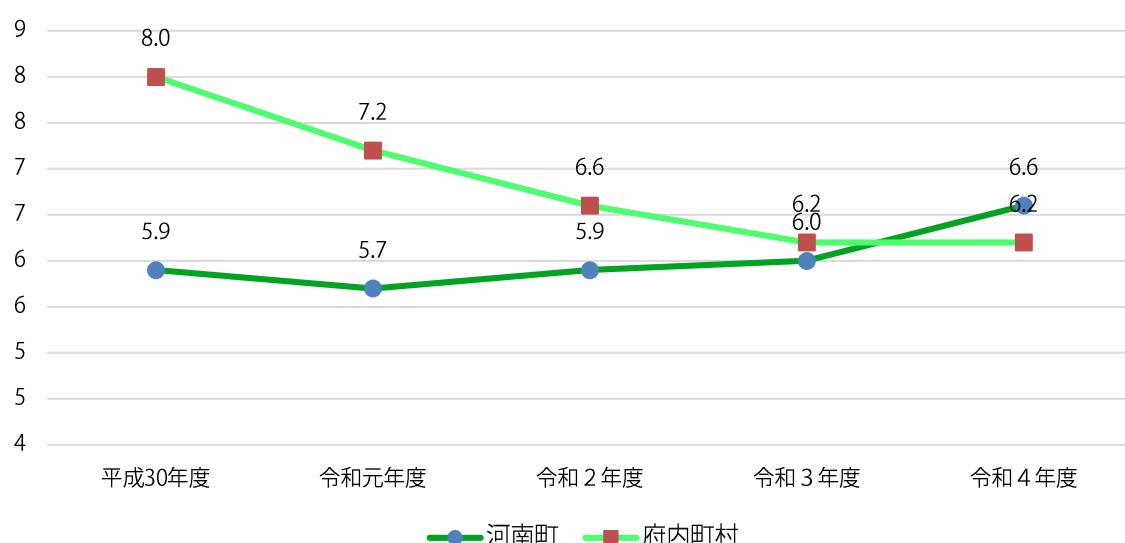
令和4年度はどうだった？



町の財政力指数は0.425で前年度に比べ0.011ポイント悪化しました。引き続き、普通交付税に過度に依存しない財政運営に努める必要があります。

# 指標3 実質公債費比率

実質公債費比率は、町の財政に占める借金返済の負担を示す指標です。家計に例えると、「家計の収入に対して、住宅ローンなどの借金返済がどれだけの割合を占めているか」ということを示します。この比率が高いと、自治体の予算が借金返済に多く使われるため、他の施策に使えるお金が少なくなるリスクがあります。



	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
河南町	5.9	5.7	5.9	6.0	6.6
府内町村	8.0	7.2	6.6	6.2	6.2

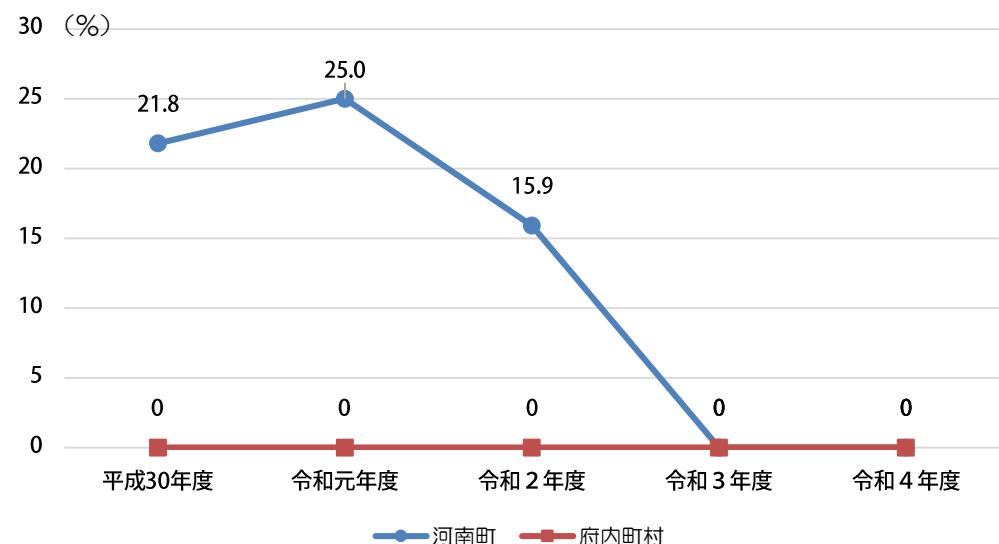
令和4年度はどうだった？



町の実質公債費比率は6.6%で前年度に比べて0.6ポイント悪化しました。引き続き、地方債に過度に依存しない財政運営に努める必要があります。

# 指標4 将来負担比率

将来負担比率は、現在の債務や将来に予定されている支出が、どの程度将来の財政に影響を与えるかを示す指標です。家計に例えると、「家計が将来負担することになる借金や支出が、現在の収入に対してどれだけの割合を占めているか」ということを示します。高い比率は、将来の財政運営に大きな負担がかかる可能性があることを意味します。



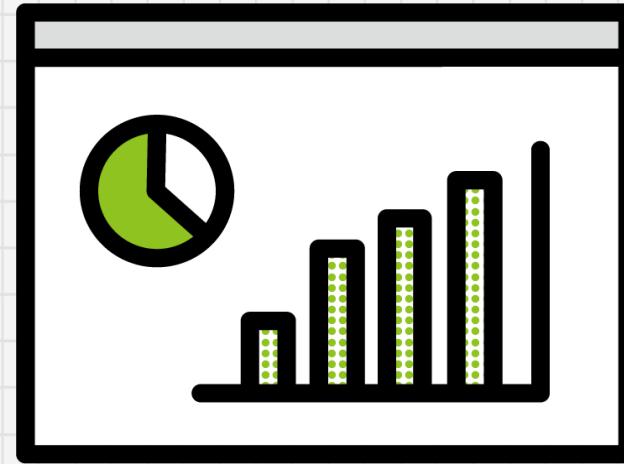
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
河南町	21.8	25.0	15.9	—	—
府内町村	—	—	—	—	—

令和4年度はどうだった？



将来負担比率は0%で前年度と同率。地方債の新規借入が元利償還額を下回り、地方債の現在高が減少したことや、退職手当負担見込額の減少したためです。

町の未来



# 見通しと課題

町の財政状況を踏まえ、今後の財政運営における展望を考えます。安定した財政基盤を維持するためにも、課題を整理し、その対応について考えます。



# 収支の見通し

町では、大阪府と共同で今後 15 年間の「中長期財政シミュレーション」を作成しています。必ずこのとおりの収支となるわけではありませんが、少子高齢化などがもたらす将来課題が長期的にどのような影響を与えるのか、大阪府と府内町村が統一したルールに基づき算出しています。



## 予測ではどうなる？

⇒人口減少に伴う税収減、  
社会保障経費の増など  
徐々に収支は悪化模様

歳入では住民税が人口に連動するため、トータルでは減少傾向。  
歳出は、社会保障経費の増加や物価上昇により増加傾向。



※グラフは、大阪府の財政シミュレーションの数値を元に作成。

※令和4年度決算をベースに15年間推計。

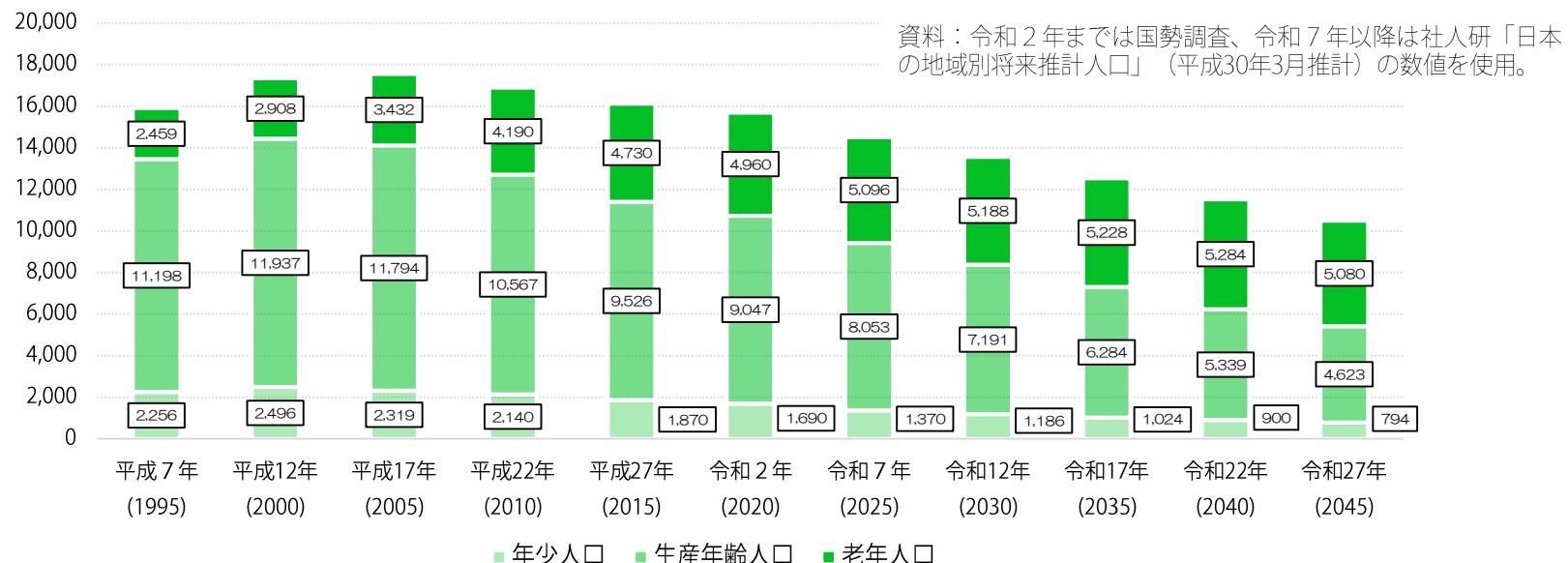
※人口推計に連動しうる費目は、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の令和5年推計と連動。

※その他の費目は、R4決算額をベースに、物価上昇率や直近の伸び率等を用いて試算。

※詳しくは、大阪府ホームページをご覧ください。 <https://www.pref.osaka.lg.jp/o040060/shinko/zaishimyu/index.html>

# 町の課題 1 人口減少

町の人口平成17年の17,545人をピークに、減少し続けることが見込まれています。また、老年人口の増加に伴う医療費・社会保障費の増大及び人口減少に伴う税収の減少も予想されることから、本町においても深刻な課題となっています。



## 税収減少対策はどうする？

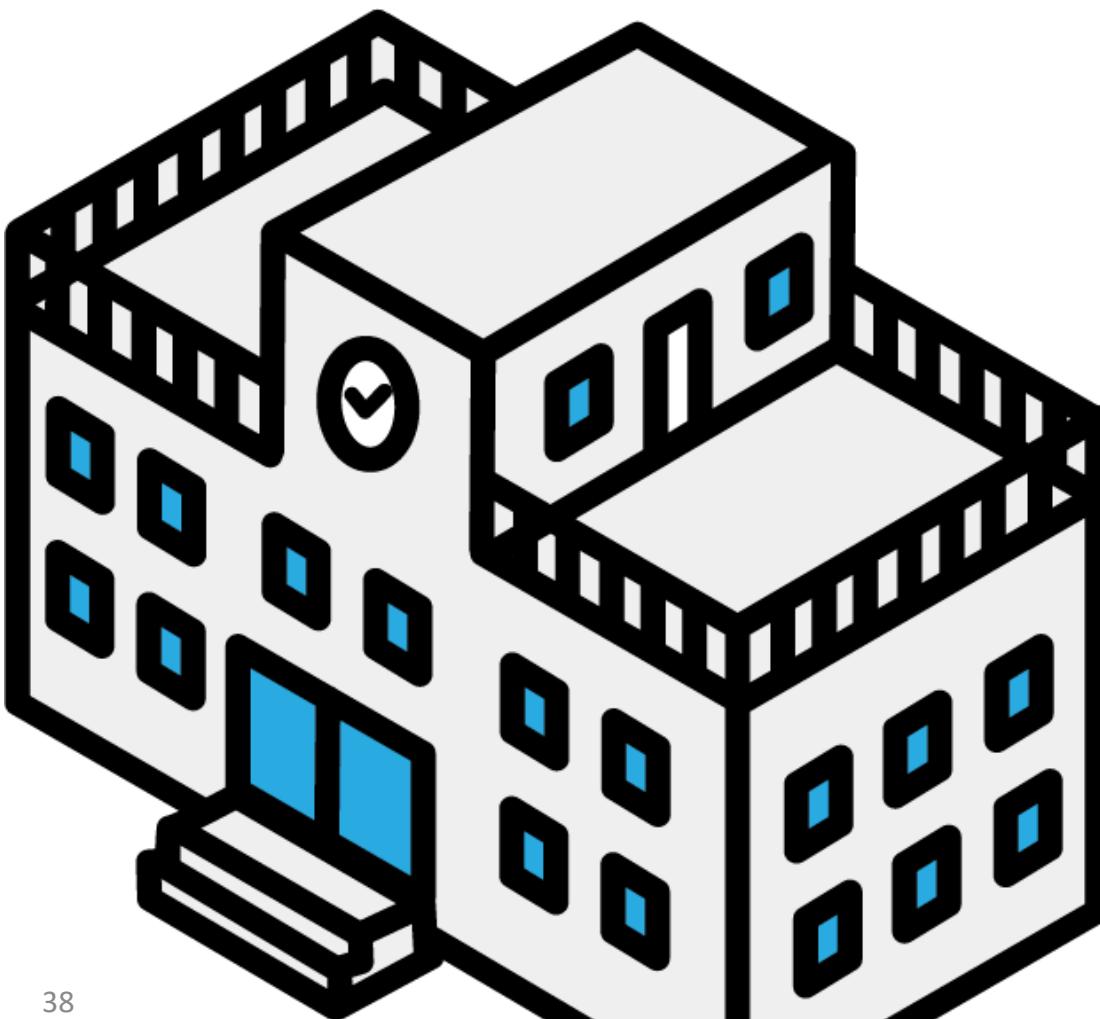
自主財源を確保するため、町ではふるさと納税の強化を図っています。令和4年度の主な取組みとして、返礼品を23品増やし、また、過去寄附者へのDM送付によるリピート率の向上、ポータルサイトの充実などを実施しました。

令和4年度実績

寄付件数：1,061件（前年度：853件） 寄附額：2,548万円（前年度：2,044万円）

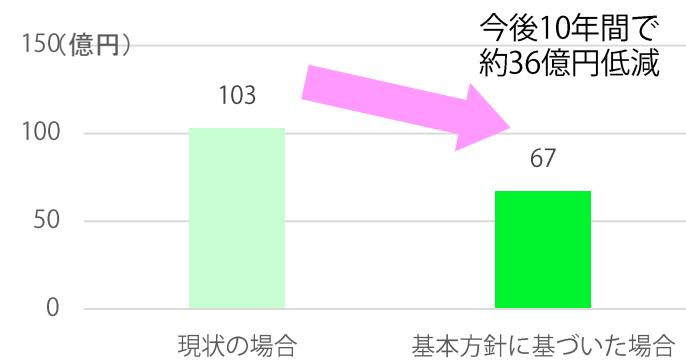
# 町の課題 2 施設の老朽化

町では、これまで学校教育施設や庁舎、スポーツレクリエーション施設、福祉健康施設などの公共施設を整備したため、今後、同一時期に多額の費用が必要になると予測しています。



## 老朽化対策はどうする？

住民ニーズに合った必要な公共施設を維持するため「公共施設の管理等に関する基本方針」を策定して、公共施設等の老朽化対策に取り組んでいます。基本方針に基づいた長寿命化と適切な維持管理・大規模改修現状のまま対策を行わない場合と比べ、今後10年間で約36億円低減できる試算となっています。ただし、今後20年後以降にやってくる多くの施設の更新に向けて、公共施設のあり方を整理し、施設の統廃合など、より計画的な公共施設整備を行っていく必要があります。



# 河南町の財政

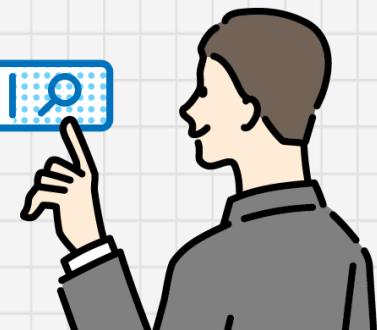
## もっと知ろう！

町の財政状況について、理解を深めていただけたでしょうか。町の財政は、私たちの暮らしに直結する重要な要素であり、住民一人ひとりが関心を持ち、理解を深めることが大切です。限られた財源の中で、皆さんと共に、町の明るい未来を支えるための取組みを続けていきたいと思います。

最後に、今回紹介した内容を日々の生活に照らし合わせながら、町の財政運営に対する理解と協力を深めていただければ幸いです。私たちの町を、より良い場所にするために、これからも共に歩んでいきましょう。

知りたくなったら

河南町 財政



# 参考 用語解説

## 経常収支比率

定義: 「町の安定した収入に対して、毎年必ず発生する支出が占める割合を示す指標です。比率が高いと財政運営の自由度が低くなります。」

例え: 「家計で言えば、毎月の収入に対する固定支出の割合です。」

## 財政力指数

定義: 「町が自力でどれだけ財政をまかなえているかを示す指標です。1.0を超えると、町が自立して運営できることを意味します。」

例え: 「家計で言えば、収入だけで生活費をすべてまかなえるかどうかを示す指標です。」

## 実質公債費比率

定義: 「町の収入に対して、借金返済にどれだけのお金を使っているかを示す指標です。比率が高いほど、借金返済の負担が大きいことを意味します。」

例え: 「家計で言えば、毎月の収入に対する住宅ローンや車のローンの返済割合です。」

## 将来負担比率

定義: 「現在の収入に対して、将来返済しなければならない借金や予定されている大きな支出がどれだけの割合を占めるかを示す指標です。」

例え: 「家計で言えば、将来の収入に対して、教育費やローン返済などの負担がどれだけ大きいかを示す指標です。」

## 地方債

定義: 「地方自治体が公共事業の資金調達のために発行する借金です。将来にわたって住民が返済することになります。」

例え: 「家を買うときの住宅ローンのようなものです。」

## 基金

定義: 「特定の目的のために積み立てられた資金で、将来の支出や緊急時の対応に備えるために使われます。」

例え: 「家計における貯金や緊急時のための予備資金のようなものです。」

## 歳入

定義: 「自治体が1年間に得る収入のことです。税収、地方交付税、補助金などが含まれます。」

例え: 「家計における給料やボーナス、その他の収入源です。」

## 歳出

定義: 「自治体が1年間に支出するお金のことです。人件費、公共事業費、福祉費などが含まれます。」

例え: 「家計における生活費やローンの返済、光熱費などの支出です。」

## 一般会計

定義: 「自治体の基本的な財政活動を管理する会計で、教育、福祉、インフラ整備など広範な分野の収入と支出を含みます。」

例え: 「家計全体の収入と支出を管理する主要な財布のようなものです。」

## 特別会計

定義: 「特定の目的のために運営される自治体の会計で、国民健康保険や介護保険など、特定の事業に関する収入と支出を管理します。」

例え: 「家計の中で、旅行や子どもの教育費など、特定の目的のために分けた別の財布のようなものです。」

## 企業会計

定義: 「自治体が運営する水道事業や下水道事業など、公共サービスの収支を管理する会計です。」

例え: 「副業や不動産収入を管理するための専用の財布に相当します。」

## 財政調整基金

定義: 「自治体の収支のバランスをとるために設けられた基金で、予期せぬ支出や収入不足に備えるために使用されます。」

例え: 「家計における緊急時のための貯金や予備資金です。」

## 減債基金

定義: 「将来の借金返済に備えて積み立てる基金で、地方債の返済に充てられます。」

例え: 「将来の住宅ローンや車のローン返済のために毎月少しづつ貯金するようなものです。」

## 一般財源

定義: 「自治体が自由に使える収入で、主に地方税や地方交付税が含まれます。特定の用途に縛られず、さまざまな分野に使うことができます。」

例え: 「家計における給料やボーナスのような、自由に使えるお金です。」

## 特定財源

定義: 「特定の目的のために使うことが決められている収入で、補助金や特定の事業に関する収入が含まれます。」

例え: 「旅行や子どもの教育費に使うために貯めたお金のように、使い道が決まっているお金です。」

## 地方交付税

定義: 「国が自治体に交付する財源で、地方の財政格差を是正するために使われます。自治体が独自に使途を決められることが特徴です。」

例え: 「親からの仕送りや政府の補助金のようなものです。」